

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サンスマイルジュニア				公表日	2026年 3月 4日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	児童の特性や利用状況に応じて役割分担や配置の見直しを行い、安定した支援体制の確保に努めている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	静かに過ごす部屋は、各教室にクールダウンの部屋が作られたり、相談室を設けたりしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケートを集計し、保護者様のニーズに沿った活動や支援内容を考えています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%		第三者による外部評価について理解を深め、実施状況の周知と業務改善への活用を検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月の発達支援研修、虐待防止研修に加え、動画研修による専門知識の研修も実施している。		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	80%	20%			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎日振り返りを行うことで児童の情報や親御さんの情報を得ています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	子ども達の声や保護者様のニーズも加味した活動内容をチームで作成しています。		

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	子ども達の声や保護者様のニーズも加味した活動内容を季節や子ども達のレベルなどに合わせて作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	その日の活動開始前に職員間で共有し、子どもの支援に繋がっています。スムーズに活動が行われるように最善を尽くしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	毎日サービス提供記録(連絡帳)を取り、保護者様に公開しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	80%	20%		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	各種関係機関の方とも情報共有をし、より良い支援へ繋げるよう協力しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	60%	40%		保育所等訪問や情報共有する機会を今後増やしていきたいと考えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	80%	20%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	60%	40%	就労移行支援事業所を招いて親子、職員での進路勉強会は実施しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%		地域の児童クラブや地域の子どもの交流機会を検討し、交流の機会の充実に努めています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	20%	80%	地域との交流、情報共有の機会を設けることで、子どもたちも地域に育ててもらえる活動を企画している。	自立支援協議会等の情報共有を進め、参加機会の確保と積極的な参画を検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日頃から保護者様と利用児童の発達や課題について、共通理解を持って両方で寄り添えるよう相談、支援を行っております。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20%	80%			
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	80%	20%	ご契約時に保護者様へお伝えしています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	80%	20%	児発管のアセスメントを中心に、職員間で共有し、より良い支援に繋がっていけるよう考えています。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	80%	20%	管理者、児発管(モニタリング)、職員で保護者様来所時や送迎時に聞いた話を共有をして、支援に努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	保護者会や保護者参加型の活動を企画して実施している。	積極的に保護者様参加型の企画や施設内での様子を見ていただく機会を設けられるよう設定していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	40%	60%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報やお客様の情報は鍵の閉められる所で保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%		地域住民との交流や情報共有の機会について検討を進め、安全面や個人情報保護に配慮しながら、地域に開かれた事業運営の推進に努めていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80%	20%	月に1度災害を想定した防災訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	60%	40%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	80%	20%	子どもの持病などを個人ファイルを読み込むことで把握に努めています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	60%	40%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	60%	40%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	80%	20%	ヒヤリハットのファイル作成や虐待防止研修を受けることでより子どもたちに親身になり、大きな事故や怪我を防げる環境づくりができています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修機会が確保されており、職員の学びの機会となっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	80%	20%			